

令和8年度 山ノ内町立東小学校 (ユネスコスクール) グランドデザイン

文部科学省「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」 長野県「個人と社会のウェルビーイングの実現」

山ノ内町「子ども一人ひとりが自らの興味関心を楽しくワクワクしながら楽しく深めることができる学び」の推進

学校教育目標

よく考え行う子 (かしこさ) 気力にあふれやりぬく子 (たくましさ) なかよく力を合わせる子 (ゆたかさ)

めざす学校像

自分で問いをもち、世界とつながり、社会をよくする力を育てる学校

願う子ども像

☆☆☆ 輝く子ども ☆☆☆

- ・「気づき」を「行動」に変える **思いやり**の姿
- ・失敗を恐れず「やってみる」 **挑戦**の姿
- ・正解のない問いに「**自分なりの答え**」を持つ姿

ESD : (E) いいと思ったことを (S) 進んで (D) できる子ども

重点目標

自らひらく
～気づき、つながり、動き出す～

学びのしくみ(啓く・開く・拓く)

- 【探究づくり①】 問いを立て深く考える 学びをつなぎ、「**気づき**」を育てる
- 【1】 学習の内容と時間の見直し 「ESDカリキュラムの再構成と充実」「ぴかりタイム」
 - 【2】 成長を実感するICT活用 「一人ひとりへの確かな支援」「校務DX」

啓く



- 【対話づくり②】 “人と**つながり**”、安心して伝え合う 対話で学びを広げる
- 【1】 つながる力を育む活動 「交流活動」「二期制を活かした懇談会」「園小・小中連携」
 - 【2】 語り合える対話環境 「インクルーシブ文化づくり」「チーム支援」「ゆとり時間」

開く

拓く

- 【実践づくり③】 体験を通して挑戦する“未来へ**動き出す**学び”を実現する
- 【1】 ワクワクする体験活動の充実 「地域協働ミライプロジェクト (CS連携)」
 - 【2】 積み重ねた学びをつなぐ場の創造 「ぴかりのひろば (保護者・地域公開)」

地域・家庭とのつながり

○地域課題を教材にした学び ○地域公開授業・CS・家庭教育支援 ○共創プラットフォーム

ふりかえりと改善

重点目標「自分から学ぶ～気づき、つながり、動き出す～」の3段階に沿って、学校教育目標、めざす子どもの姿、重点活動の成果を評価します。また、経年変化を踏まえで改善に努めてまいります。子ども・教職員・保護者の声（以下の丸数字は、重点活動との関連）をもとに、毎年グランドデザインを見直し、進化させていきます。

- ・授業がわかりやすいと言っている (R7 68.8%) ①
- ・相手に優しい気持ちを持って接している (R7 79.9%) ②
- ・学校へ行くのを楽しみにしている (R7 88.3%) ③
- ・人の話しをよく聞き、自分の考えや気持ちを伝えている (R7 59.8%) ③

*学校自己評価 (1 学期 児童・教職員、2 学期 児童・保護者・教職員) の結果を教育課程編成プロジェクト、児童会、CS推進委員会等で検証